

◎ラップ東京では、皆様のお役に立てるような様々な内容のコラムを発信しています。バックナンバーは www.raptokyo.co.jp から

「時間の価値」

会社員だったころの失敗談です。ある半導体メーカーの仕事をどうしても取りたくて、数か月間の電話営業の末、やっとアポを取ることができました。私にとつては大きなビジネスチャンス到来です。ところが、ちよつとしたトラブルが発生して、アポの時間に遅刻してしまいました。しかし、5分だけだったので、私は会っていただけないと思ひ、受付の電話からお詫びも含めて話し始めました。「今日は会うことができません、また今度にしてください。」という返事。「今度はいつお伺いすればよろしいですか?」と食い下がって見たものの、「また、別な日に連絡してください。」とのこと。残念ながら、この方とその後、お会いすることはできませんでした。何十年も昔の話ですが、いまでもよく覚えています。「時間」について厳しく教えていただき、自分にとってよい経験となりました。

昨年、講師としてある専門学校で授業を行いました。そのときの課題の提出期限が先日だったので、心の中で「生徒全員が期限を守ってくれればいいなあ」と思っていました。しかし、数人の生徒は期限になっても未提出でした。社会人としては、時間を守るというのは重要です。期日に関して厳しく評価するか、それとも提出された内容を重視して考えるべきか非常に悩みます。期限を守り、要求以上に工夫をしている学生や工夫が見受けられない学生もいるからです。思い出してみると授業中に寝ていた学生もいました。これも評価にいれるか? など…。様々な20歳前後の若い学生たちをどの視点で評価すればいいのか、授業を行うよりも難しいと感じています。

自分も同じくくらいのころ、期日を守ったのか、授業中寝ていたことはなかったのか思い起してみると否定できません。

社会にでてから、厳しい経験を通し、身に染みて学ばされるのかもしれない。

会社でもお客様でも、いろいろな方がいて価値観の違いを感じます。特に時間に関しては、考え方が分かれると思います。いつも余裕をもって行動する人もいるし、ギリギリでも、結果、間に合っているなら問題ないと思っている方もいます。「最大限の努力をしたが間に合わなかった」というのはどうでしょうか。認めるか? 認めないか? 内容にもよりますが、意見の分かれるところだと思います。

さて、私の評価のポイントですが、学生には期日を守ること、さらにそれに向けた準備が重要であると理解してもらいたいと思ひました。社会にできれば仕事の「段取り」が大切です。期日に間に合わせるためには、どのように自分が動かなくてはいけないかを考えてほしいと思ひ評価していきたいと思ひます。

新しい年が始まってもう1か月。通常の業務に追われる毎日ですが、今回の課題評価という作業を通して「時間」について考えるよいきっかけをいただきました。教えることは学ぶこと、と言いますが、まさにその通りだと思ひます。お金は稼ぐことができますが、時間は稼ぐことができません。時間は皆に平等。相手の時間を奪ってしまうことが無いよう心がけていきたいです。

ご案内

低コストで高機能
簡単更新プログラム

簡単更新くん

誰でも迷わず簡単に
ホームページを更新できる!

【この件に関する問い合わせ】
ラップ東京株式会社
TEL: 042-349-3535 (担当: 田島)

- ラップニュース バックナンバーはホームページからご覧いただけます。
- アンケートがありますのでよろしかったら、ご意見をお聞かせください。
<http://www.raptokyo.co.jp/>